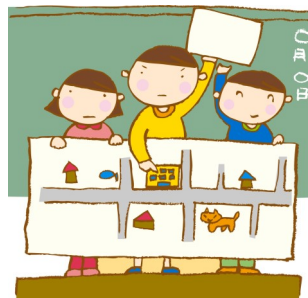


社会科自由研究のすすめ方

鶴岡市社会科研究物展



1) きっかけを探そう

自由研究の第一歩は「きっかけ」です。自分の好きなことや、身近なこと、最近話題になっていることなど、少しでも興味を持ったことから、「なぜ?」「どうして?」と、知りたい気持ちが大きくなっていきます。

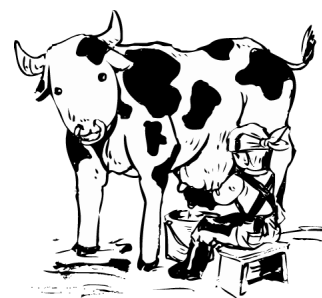
(参考例) 「鶴岡天神祭りのひみつ」

2) テーマを決めよう

自由研究をすすめる上で、一番大切なことが、テーマの決定です。何について調べ、まとめていくか、具体的に考えていきます。調べようとしていることについて、様々な方向から切り口を見つけてみましょう。

(参考) 5W1Hで切り口を見つける 「天神祭りとは・・・」

- ①Who (誰が) 「誰がでるの? 誰を祭ってるの?」
- ②What (何を) 「祭りはどんなことをするの?」
- ③When (いつ) 「いつから始まったの?」
- ④Where (どこで) 「どこで行われたの?」
- ⑤Why (どんな目的で) 「鶴岡天神祭りの目的は?」
- ⑥How (どのように) 「どのように行われるの?」



そして、何かと比べてみるといいね!

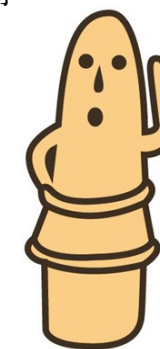
「大山犬祭りと天神祭りを比べて」「日本各地の天神祭りと比べて」

3) 計画をたてよう

何事も計画が肝心です。興味や関心がある人は学習や旅行など他の予定と調整して、無理なく、満足できる作品に仕上がるよう、前もって計画を立てましょう。

(参考例) 計画を立てるのに必要なこと

- ① テーマに関する本などを調べる
- ② 調べ方 (本, 現地調査, インタビューなど) を考える
- ③ スケジュール (調査する日, まとめる日など) を立てる
- ④ 必要な道具 (ノート, ファイルなど) を準備する



4) 調べてみよう

計画で考えた調べ方に沿って、調べましょう。

(参考例) 現地調査について

- ① 歩く: 安全に十分気をつけて, 住民の方への迷惑にならない
- ② 見る: メモや写真などで記録する
- ③ 聞く: 教えていただける人を探し, 直接か電話などで聞く

※事前に相手の予定を確認しましょう。お礼を忘れずに。

パソコンを使う場合は, どの何を使ったらいいのか検討すると同時に, そのページをそのままコピーして貼り付けることはできません。(著作権などの問題があります。場合によっては許諾してもらう必要があります。お家の人と相談しよう)

保護者のみなさまへお願い

お子様やご家族にとりまして, 実り多き自由研究となりますよう, いくつか留意していただきたい点をお伝えいたします。鶴岡市児童生徒社会科作品展には, 校内審査によって特に優れた作品と認められたものが, 学校代表として出品されます。また, 校内審査において学校代表となった場合は, 市の展示会場に作品展示されます。作品は, 社会科学習に基礎をおいたもの(小学校1・2年生は, 生活科学習でも結構です)で, 普段の授業や校外活動を基にした発展学習, 休業日の自主的研究等で作られたものとします。複数の児童生徒による共同作品でも構いません。作品形態は, サイズは四つ切り画用紙のサイズまで。実物は作品の中に写真で入れてください。また, パソコンを使つての作品も可能です。しかし, 他のページをそのままコピーしたり, 貼りつけたりすることの無いようにしましょう。また, 出典を明確にすること。必要に応じては作者の許諾を得ること等ご家庭での配慮をお願いします。(出典が本の場合も必要です。)電子ファイルや映像等による作品はプリンターで出力したものでお願いします。研究を進めるにあたり, 家の外での活動もあるかと思ひます。事故等を防ぐため, 調査活動中におけるお子様への安全配慮をお願いしますとともに, 夏季休業中の活動になりますので, 体調にも十分お気をつけください。

5) まとめてみよう

工夫してまとめることがポイントです。時間をかけて調べたことや考えたことをはっきりと分かりやすく伝えるようにすることで、優れたまとめになります。

レポート・論文型	まとめ方
丁寧に、分かりやすく工夫をしてまとめよう 表紙に、「作品名」「学校名」「学年」「氏名」を書こう <動 機> - 調べようと思ったきっかけや理由 <目 的> - 何を調べようとしたのか - はっきりさせたいことは何か、何とくらべるか <調べ方> - どのような方法で調べてきたのか - 工夫や比較したところはどこか - 仮説（結果の予想） <結 果> - 調べた結果を文章や表，グラフなどで表す <考 察> - 調べた中で，自分が考えたこと - 結果から考えられること ・今後の課題 <感 想・振り返り> - まとめが終わった感想 ・取り組みの反省	・ノート形式 ・ファイル形式 ※実物を作った場合は、写真などに撮り，作品の中に折り込むこと。



参考例 過去の鶴岡市児童生徒社会科研究物展の入賞作品タイトル

- ①まちのふしぎをみつけたよ！
- ①ぼくのおばあちゃんはびようし
- ①わたしにできるおてつだいしらべ
- ①こしかいしゅうのおしごとたいけん
- ②みんなへとどけ！！ゆのはまのみりよく
- ②つるおかのでんとうがし
- ②超町たんけん
- ②まつがおかかいこんじょうとシルクミライかんまゆ・いとづくりのひみつ
- ②漢字の成り立ちと地名・学校名の由来と歴史
- ③つるおかのでんとうやさい
- ③地図記号を追え！
- ③ぼくが歩いた松ヶ岡までの道のり
- ③お米ってすごい！
- ③庄内竿ってどんな竿？
- ④羽越本線全線開通１００周年 体験レポート
- ④夏の挑戦「家ごみ減量 プロジェクトX」
- ④ハチ公と鶴岡のつながり
- ④オーケストラのふしぎ
- ④環境に優しい食材 大豆ミート
- ⑤地震への備え
- ⑤視覚障がい者のためにわたしができること
- ⑤山形県朝日町非公式PRキャラクター「桃色ウサヒ」の活動の先にあるものは？
- ⑤「三浦家に伝わる享保雛を未来につなぐ」
- ⑤庄内産のえごを作ってみた！！
- ⑥おいがだも こさいで いいガァ？
- ⑥信号のない 横断歩道 渡りたい
- ⑥ひいおばあちゃんから聞いた戦争体験
- ⑥大昔の三瀬を探ろう！
- ⑥目の見えない人のお話を聞いて
- ㊦コロナ禍でも関わりをつくり、深めた町内シニア文通プロジェクト

過去の作品のタイトルは、あくまでも参考例です。

優れた作品の良いところをまねしていくことも大切ですね。



(○の中の文字は学年を表します)